

# ご修理のときは

修理・お手入れ・お取扱いのご相談は、まずお買い求めの販売店にご依頼ください。転居や贈答品などでお困りの場合は、商品名・品番をご確認のうえ、お近くの営業拠点へお問い合わせください。

## お客様メモ

お買い上げの際、販売店名・製品に表示されている製造番号 (NO.) などを下欄にメモしておく、修理を依頼されるとき便利です。

お買い上げ日	年	月	日	製造番号 (NO.)
販売店 (TEL)				

## 全国営業拠点

お客様相談センター ※土・日・祝日・弊社休業日を除く 9:00~12:00, 13:00~17:00

### ●フリーダイヤル

**☎ 0120-20-8822**

※携帯電話からはご利用になれません。  
携帯電話からはお近くの営業拠点にお問い合わせください。  
※長くお待たせする場合があります。  
お急ぎのときは、お近くの営業拠点に直接お問い合わせください。

●営業本部 TEL (03) 5783-0626	●北陸支店 TEL (076) 263-4311
●北海道支店 TEL (011) 786-5122	●関西支店 TEL (0798) 37-2665
●東北支店 TEL (022) 288-8676	●中国支店 TEL (082) 504-8282
●関東支店 TEL (03) 6738-0872	●四国支店 TEL (087) 863-6761
●中部支店 TEL (052) 533-0231	●九州支店 TEL (092) 621-5772

■営業所の移転等により、上記電話番号に連絡がとれない場合は、下記のアドレスにアクセスすることで、最新の全国営業拠点をご確認いただけます。

<https://www.hikoki-powertools.jp/relation/sales.html>

WEBに  
アクセス

バーコードリーダー機能付きの  
携帯端末より読み取ることで、  
最新の全国営業拠点をご確認い  
ただけます。



# 工機ホールディングス株式会社

〒108-6020 東京都港区港南2丁目15番1号 (品川インターシティA棟)

営業本部 TEL (03) 5783-0626 (代)

電動工具ホームページ — <https://www.hikoki-powertools.jp>

部品コード C99741602 106 F

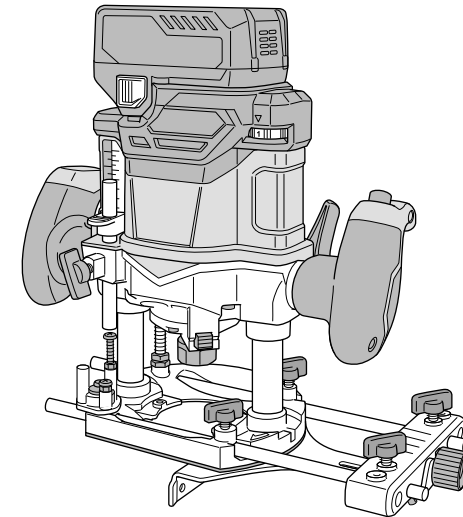
# HiKOKI

## 取扱説明書

## コードレスルータ

36 V  
12 mm M 3612DA

このたびは弊社製品をお買い上げいただき、ありがとうございました。  
ご使用前にこの取扱説明書をよくお読みになり、正しく安全にお使いください。  
お読みになった後は、いつでも見られる所に大切に保管してご利用ください。



本製品は日本国内用のため、日本国外で販売または使用することはできません。日本国外で使用した場合は、仕様上の性能を発揮できない恐れがあります。日本国外では、修理または保証を受けられません。

This product may be used only in Japan and should not be sold or used in any other country. Otherwise, product may not perform as intended. No authorized service or warranty is available outside of Japan.

### 用途

- 各種溝切り、面取り等の木工作業
- フラッシュドアの窓抜き、側面削り
- 各種彫刻、形彫り、継ぎ合わせ等

### はじめに

コードレス工具の安全上のご注意	1
本製品の使用上のご注意	4
リチウムイオン電池の使用上のご注意	6
各部の名称	8
仕様	9
標準付属品	10
別売部品	11

### 使い方

ご使用前の準備	11
蓄電池の取りはずし・取付け	12
スイッチについて	12
LEDライトについて	13
LEDライトの警告シグナルについて	13
電池残量表示について	14
1充電当たりの作業量について	14
ビットの取付け・取りはずし	15
コレットチャックの付け替え	16
連続作業について	17
回転速度の調整	17
ストローク上限の設定	18
切込み深さの調整	19
作業する	21
標準付属品の使い方	23

### その他

保守・点検	25
ご修理のときは	裏表紙

## ⚠警告、⚠注意、注 の意味について

**⚠警告** : 誤った取扱いをしたときに、使用者が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容のご注意。

**⚠注意** : 誤った取扱いをしたときに、使用者が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容のご注意。

**注** : 製品のすえ付け、操作、メンテナンスに関する重要なご注意。

なお、**⚠注意**に記載した事項でも、状況によっては重大な結果に結び付く可能性があります。いずれも安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。

## コードレス工具の安全上のご注意

- 火災、感電、けがなどの事故を未然に防ぐために、次に述べる「安全上のご注意」を必ず守ってください。
- 使用前に、この「安全上のご注意」すべてをよくお読みのうえ、指示に従って正しく使用してください。
- お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られる所に必ず保管してください。

### ⚠警告

- ① **専用の充電器や蓄電池を使用してください。**  
弊社カタログに記載されている指定の充電器や蓄電池を使用してください。指定以外の蓄電池を使用すると、破裂して傷害や損害を及ぼす恐れがあります。
- ② **蓄電池の端子間を短絡（ショート）させないでください。**  
釘袋などに入れると、短絡（ショート）して、発煙・発火・破裂などの恐れがあります。
- ③ **蓄電池の内部に、水のような導電性の液体を入れないでください。**  
発熱・発火・破裂などの恐れがあります。
- ④ **作業場や保管場所の周囲状況も考慮してください。**
  - 工具本体や蓄電池は、雨の中や湿った場所で使用・放置・保管をしないでください。感電や発煙の恐れがあります。
  - 作業場は十分に明るくしてください。  
暗い場所での作業は、事故の原因になります。
  - 可燃物、可燃性あるいは腐食性の液体やガスがある所での使用・充電・保管をしないでください。発火や火災の恐れがあります。
- ⑤ **保護メガネを使用してください。**  
作業時は、保護メガネを使用してください。また、粉じんの多い作業では、防じんマスクを併用してください。  
切削した物や粉じんが目や鼻に入る恐れがあります。
- ⑥ **加工する物をしっかりと固定してください。**  
加工する物を固定するために、クランプや万力などを利用してください。  
手で保持するより安全で、両手でコードレス工具を使用できます。  
固定が不十分な場合は、加工する物が飛んで、けがの原因になります。

### ⚠警告

- ⑦ **次の場合は、コードレス工具のスイッチを切り、蓄電池を工具本体から取りはずしてください。**
  - 使用しない、または、準備・調整・保守・点検・修理する場合。
  - 付属品や別売部品を取付け、交換する場合。
  - その他、危険が予想される場合。  
コードレス工具が作動して、けがの原因になります。
- ⑧ **不意な始動は避けてください。**  
スイッチに指を掛けて運ばないでください。  
コードレス工具が作動して、けがの原因になります。
- ⑨ **指定の付属品やアタッチメントを使用してください。**  
この取扱説明書および弊社カタログに記載されている指定の付属品やアタッチメントを使用してください。事故やけがの原因になります。
- ⑩ **蓄電池を火の中に投入しないでください。**  
破裂して、有害物質が出る恐れがあります。

### ⚠注意

- ① **作業場は、いつもきれいに保ってください。**  
散らかった場所や作業台は、事故の原因になります。
- ② **子供を近づけないでください。**
  - 作業員以外、コードレス工具に触れさせないでください。けがの原因になります。
  - 作業員以外、作業場へ近づけないでください。けがの原因になります。
  - 安全に責任を負う人の監視または指示がないかぎり、補助を必要とする人が単独で使用しないでください。
- ③ **使用しない場合は、きちんと保管してください。**
  - 乾燥した場所で、子供の手の届かない所または鍵のかかる所に保管してください。事故の原因になります。
  - 工具本体や蓄電池を、温度が50℃以上に上がる可能性のある場所（金属の箱や夏の車内など）に保管しないでください。  
蓄電池劣化の原因になり、発煙、発火の恐れがあります。
- ④ **無理して使用しないでください。**
  - 安全に能率良く作業するために、コードレス工具の能力に合った速さで作業してください。能力以上での使用は、事故の原因になります。
  - モーターがロックするような無理な使い方はしないでください。  
発煙、発火の恐れがあります。
- ⑤ **作業に合ったコードレス工具を使用してください。**
  - 小形のコードレス工具やアタッチメントは、大形のコードレス工具で行う作業には使用しないでください。けがの原因になります。
  - 指定された用途以外に使用しないでください。けがの原因になります。

## ⚠️注意

- ⑥ **きちんとした服装で作業してください。**
  - だぶだぶの衣服やネックレスなどの装身具は、着用しないでください。回転部に巻き込まれる恐れがあります。
  - 屋外での作業の場合には、ゴム手袋と滑り止めの付いた履物の使用をお勧めします。滑りやすい手袋や履物は、けがの原因になります。
  - 長い髪は、帽子やヘアカバーなどでおおってください。回転部に巻き込まれる恐れがあります。
- ⑦ **無理な姿勢で作業をしないでください。**

常に足元をしっかりさせ、バランスを保つようにしてください。転倒して、けがの原因になります。
- ⑧ **コードレス工具は、注意深く手入れをしてください。**
  - 安全に能率良く作業していただくために、刃物類は常に手入れをし、良く切れる状態を保ってください。損傷した刃物類を使用すると、けがの原因になります。
  - 付属品や刃物類の取付け・取りはずしは、取扱説明書に従ってください。
  - 握り部は、常に乾かしてきれいな状態に保ち、油やグリースが付かないようにしてください。けがの原因になります。
- ⑨ **調節キーやスパナなどは、必ず取りはずしてください。**

スイッチを入れる前に、調節に用いたキーやスパナなどの工具類が取りはずしてあることを確認してください。付けたままでは、作動時に飛び出して、けがの原因になります。
- ⑩ **油断しないで十分注意して作業をしてください。**
  - コードレス工具を使用する場合は、取扱い方法、作業の仕方、周りの状況など、十分注意して慎重に作業をしてください。軽率な行動をすると、事故やけがの原因になります。
  - 常識を働かせてください。非常識な行動をすると、事故やけがの原因になります。
  - 疲れている場合は、使用しないでください。事故やけがの原因になります。
- ⑪ **損傷した部品がないか点検してください。**
  - 使用前に、保護カバーやその他の部品に損傷がないか十分点検し、正常に作動するか、また所定機能を発揮するか確認してください。
  - 可動部分の位置調整および締付け状態、部品の破損、取付け状態、その他、運転に影響を及ぼすすべての箇所に異常がないか確認してください。
  - 破損した保護カバー、その他の部品交換や修理は、取扱説明書の指示に従ってください。取扱説明書に指示されていない場合は、お買い求めの販売店に修理を依頼してください。
  - スイッチで始動および停止操作のできないコードレス工具は、使用しないでください。誤作動して、けがの原因になります。
- ⑫ **コードレス工具の修理は、専門店で依頼してください。**
  - サービスマン以外の方は、工具本体や蓄電池の分解・修理・改造をしないでください。発火や誤作動など、けがの原因になります。
  - コードレス工具が高温になるなど、異常に気付いたときは、点検・修理に出してください。
  - この製品は、該当する安全規格に適合しているので改造しないでください。
  - 修理は、お買い求めの販売店に依頼してください。ご自身で修理すると、事故やけがの原因になります。

## 本製品の使用上のご注意

先にコードレス工具として共通の注意事項を述べましたが、コードレスルータについて、次に述べる注意事項を守ってください。

## ⚠️警告

- ① 使用中は、両手で機体を確実に保持してください。
- ② 使用中は、ビットや回転部に手や顔などを近づけないでください。
- ③ 使用中、機体が高温になったり、異常音、異常振動がしたりするときは、直ちにスイッチを切って使用を中止し、お買い求めの販売店に点検・修理を依頼してください。
- ④ 誤って落としたり、衝撃が加わったり、工具類や機体などに破損や亀裂、変形が生じた場合は、使用しないでください。
- ⑤ 工具本体の端子部(蓄電池取付部)に変形が生じた場合は、使用しないでください。

短絡(ショート)して、発煙・発火などの恐れがあります。
- ⑥ 工具本体の端子部(蓄電池取付部)に、切りくずやほこりがたまらないようにしてください。
  - 使用前に、端子部に切りくず、ほこりがたまっていないことを確認してください。
  - 作業中に、機体に付いた切りくず、ほこりが端子部に降りかからないようにしてください。
  - 使用中断時、および使用後に切りくず、ほこりが降りかかる場所に機体を放置しないでください。

短絡(ショート)して、発煙・発火などの恐れがあります。

## リチウムイオン電池の使用上のご注意

本製品はリチウムイオン電池を使用します。リチウムイオン電池には、寿命を長くする目的で出力を停止する保護機能が付いています。

下記①、②、③の場合、本製品を使用中にモーターが停止することがあります。これは保護機能によるものであり故障ではありません。

- ① 電池残量が少なくなるとモーターが停止します。  
速やかに充電してください。
- ② 工具本体が過負荷状態になるとモーターが停止する場合があります。  
スイッチを切り、過負荷の原因を取り除いてください。
- ③ 蓄電池が過熱状態になるとモーターが停止する場合があります。  
蓄電池の使用を中断し、工具本体より取りはずして、風通しの良い日かげなどで蓄電池を十分に冷ましてください。

再びご使用になれます。

さらに蓄電池の液漏れ、発熱・発煙・発火を未然に防ぐため、次に述べる注意事項を守ってください。

### ⚠️ 注意

- ① ビットや付属品は、取扱説明書に従って確実に取付けてください。
- ② ビットの取扱いには、手袋、布などで手を保護し、十分注意してください。
- ③ 使用中は、軍手など巻き込まれる恐れがある手袋を着用しないでください。
- ④ 機体を万力などで保持した使い方はしないでください。  
不意の接触などで、けがの原因になります。
- ⑤ 材料に釘などの異物がないことを確認してください。  
刃こぼれだけでなく、反発により思わぬけがの原因になります。
- ⑥ ロックレバーをゆるめる際には機体を立て、ハンドルを握ってからゆるめてください。  
不意にロックレバーをゆるめると、バネの反動でベースが急に動き、思わぬけがの原因になります。
- ⑦ ブレーキが働くときの反発力に注意してください。  
機体を落としたり、けがの原因になります。
- ⑧ 作業直後のビット、コレットチャック、チャックスリーブは高温になっているので、触れないでください。
- ⑨ 回転させたまま、台や床などに放置しないでください。
- ⑩ LED ライトをのぞき込んで、直接 LED ライトの光を目に当てないでください。
- ⑪ 蓄電池は確実に取付けてください。

#### ○ 騒音防止規制について

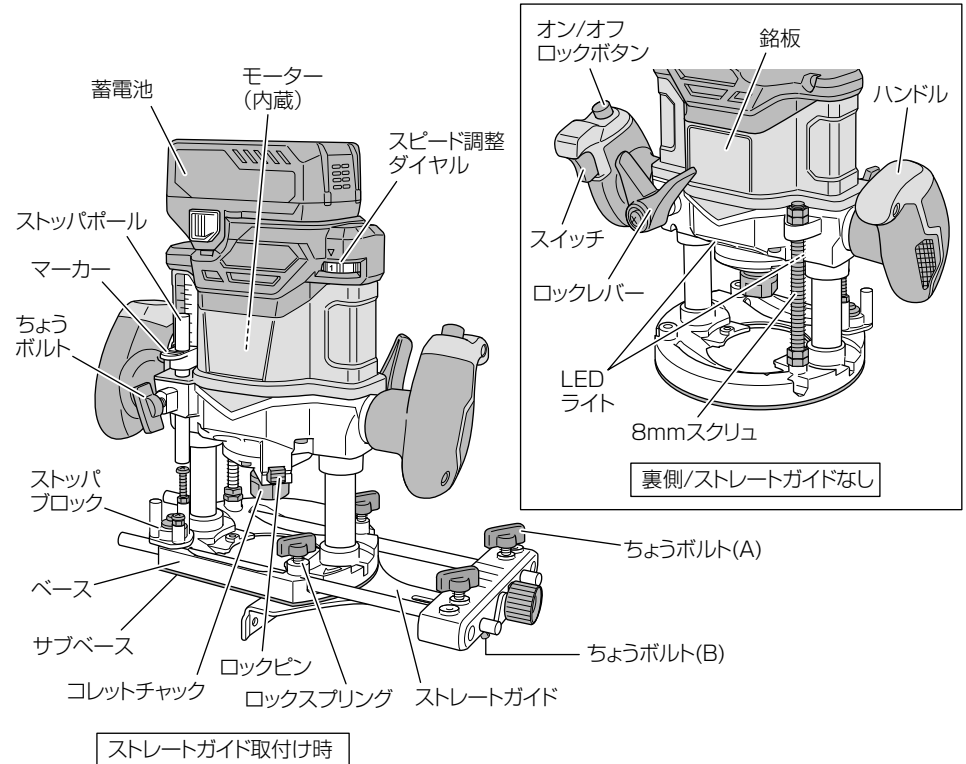
騒音に関しては、法令や各都道府県などの条例で定める規制があります。ご近所に迷惑をかけないよう、規制値以下でご使用になることが必要です。状況に応じ、しゃ音壁を設けて作業してください。

### ⚠️ 警告

- ① 蓄電池の端子部に、切りくずやほこりがたまらないようにしてください。
  - 使用前に、端子部に切りくず、ほこりがたまっていないことを確認してください。
  - 作業中に、機体に付いた切りくず、ほこりが端子部に降りかからないようにしてください。
  - 使用中断時、および使用後に切りくず、ほこりが降りかかる場所に機体を放置しないでください。
- ② 蓄電池の端子部に変形が生じた場合は、使用しないでください。また、外傷、変形の著しい蓄電池は使用しないでください。
- ③ 蓄電池に釘をさす、ハンマーでたたく、踏みつける、投げつけるなど強い衝撃を与えないでください。
- ④ 蓄電池を指定機器以外の用途に使わないでください。
- ⑤ 蓄電池を電子レンジや高圧容器に入れるなど、過熱・高圧を与えないでください。
- ⑥ 蓄電池が液漏れしたり、異臭を発したりするときは直ちに火気より遠ざけてください。
- ⑦ 強い静電気の発生する場所では使用しないでください。
- ⑧ 蓄電池の使用、充電、保管時に異臭・発熱・変色・変形、その他異常に気が付いたときは、直ちに使用を中止して、お買い求めの販売店に相談してください。

# 各部の名称

## 工具本体



## ⚠️ 注意

- ① 蓄電池が液漏れして液が目に入ったときは、こすらずにすぐ水道水などのきれいな水で十分に洗った後、直ちに医師の治療を受けてください。放置すると液により目に障害を与える原因になります。
- ② 蓄電池が液漏れして液が皮膚や衣類に付着した場合は、直ちに水道水などのきれいな水で洗い流してください。皮膚がかぶれたりする原因になる恐れがあります。
- ③ 蓄電池を一般のごみと一緒に捨てないでください。
- ④ 蓄電池は子供の手の届かない所に保管してください。
- ⑤ 蓄電池の仕様表示に従って正しく使用してください。

## 蓄電池はリサイクルへ

蓄電池はリサイクル可能な貴重な資源です。蓄電池を廃棄する際は、リサイクルにご協力いただき、お買い求めの販売店にご持参ください。



### ○ 新しい蓄電池は、弊社純正品をご使用ください

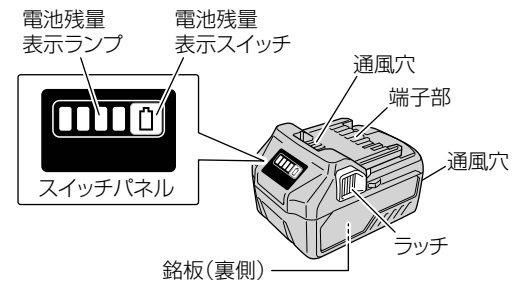
弊社指定の蓄電池以外の使用や分解、改造した物（蓄電池を分解してセルなどの内蔵部品を交換した物を含みます）は、安全性や製品に関する保証はできません。

## ⚠️ 警告マークについて



このマークのある操作・手順では、必ずスイッチを切り、蓄電池を工具本体から取りはずしてください。蓄電池を工具本体に装着したまま準備や点検、先端工具の交換などをすると、予期できない作動を招いて事故やけがの原因になります。

## 蓄電池



# 仕 様

## 1. 工具本体

形 名	M 3612DA
モーター	直流ブラシレスモーター
コレットチャック穴径	8 mm, 12 mm
ストローク(上下運動)	50 mm
無負荷回転数 [気温20℃満充電時]	11,000 ~ 25,000 min <sup>-1</sup> {回/分}
寸法 全幅×奥行×高さ	275 × 148 × 280 mm
質量	3.7 kg (BSL 36A18 装着時)
使用可能蓄電池	マルチボルトタイプ蓄電池

## 2. 蓄電池


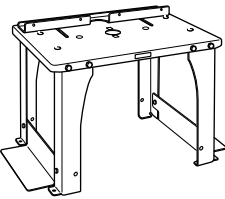
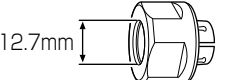
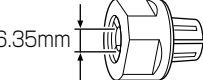
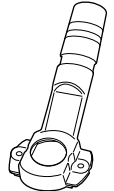

形 名	BSL 36A18
種類	円筒密閉形リチウムイオン電池
電池電圧	36 V / 18 V (本体により自動切替)
容量	2.5 Ah / 5.0 Ah (本体により自動切替)
冷却	対応
使用可能 コードレス製品	18 V 品: 使用可 36 V 品: マルチボルトタイプ蓄電池対応製品
使用可能充電器	スライド式リチウムイオン電池対応充電器 UC 36xxx、UC 18xxx シリーズ
残量表示ランプ	緑色 LED

# 標準付属品

品名・形名	仕 様	XP	NN
コレットチャック(12 mm) (本体装着) 【コード No. 307802】		1 個	1 個
コレットチャック(8 mm) 【コード No. 376837】		1 個	1 個
23 mm スパナ		1 個	1 個
チャックスリーブ (12 × 6 mm) 【コード No. 956798】		1 個	—
ストレートガイド		1 セット	—
テンプレートガイド(M18) (M5 × 6 ねじ 2 個付)		1 セット	—
蓄電池 BSL 36A18 (本体装着)		1 個	—
充電器 ●取扱い方法は、充電器の取扱説明書を確認 してください。		1 台	—
システムケース(No. 4)		1 個	—
電池カバー		1 個	—

## 別売部品 (別売部品は生産を打ち切ることがありますので、ご了承ください。)

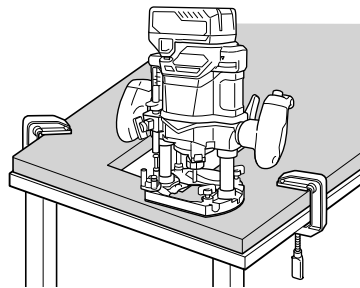
各種取りそろえています。詳細は、弊社総合カタログ、またはホームページをご覧ください。また、お買い求めの販売店にお問い合わせください。

<p>チャックスリーブ [12×9.53 mm (3/8")]</p>  <p>12mm   9.53mm</p> <p>【コード No. 956930】</p>	<p>トリマ・ルータ用ベンチスタンド TR12-B</p> <p>直線や円弧を切る場合に利用してください。</p> 
<p>コレットチャック [12.7 mm (1/2")]</p>  <p>12.7mm</p> <p>【コード No. 307801】</p>	
<p>コレットチャック [6.35 mm (1/4")]</p>  <p>6.35mm</p> <p>【コード No. 376838】</p>	<p>ルータ用集じんアダプタ</p> <p>ベースに取付け、集じん機に接続します。集じん機については、お買い求めの販売店にご相談ください。</p> 
<p>テンプレートガイド (M18のみ標準付属)</p> <p>各種サイズ取りそろえています。</p> 	

先端工具は P.15「ビットの取付け・取りはずし」を参照してください。

## ご使用前の準備

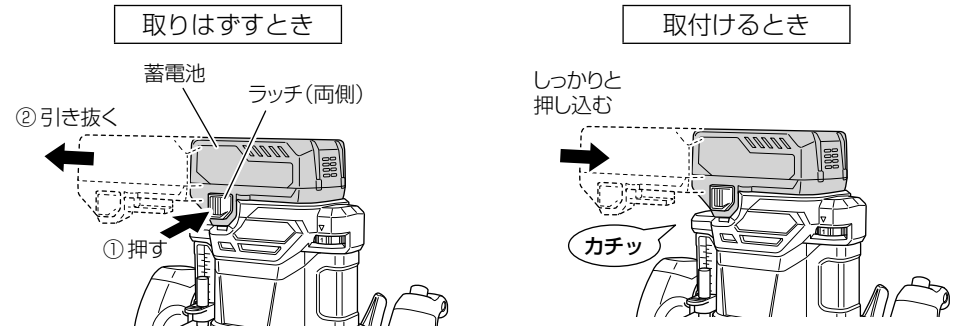
材料をバイスで固定するなどしてしっかり押さえ、両手で機体を確実に保持できるようにしてください。



## 蓄電池の取りはずし・取付け

蓄電池を工具本体から取りはずすときは、両側のラッチを押しながら、スライドさせて引き抜きます。

蓄電池を取付けるときは、「カチッ」と音がするまでしっかりと押し込んでください。



## スイッチについて

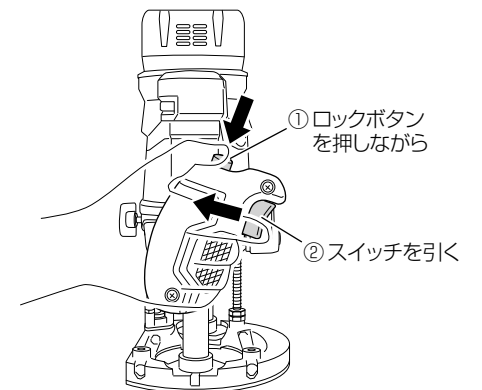
本製品は、不意なスイッチ操作を防止するためにロックボタンが付いています。ロックボタンを押しながらスイッチを引くことで機体が作動します。

スイッチを最大まで引いてからロックボタンをさらに押し込むと、スイッチから指をはなしてもスイッチが固定され、連続運転になります。

スイッチから指をはなす前にロックボタンから指をはなすと、スイッチは固定されずスイッチを引いている間のみ運転します。

連続運転を解除させるときは、もう一度スイッチを引いてロックボタンが戻ってからはなすと、連続運転が解除され回転にブレーキがかかり停止します。

使用前にロックボタン、スイッチが適切に作動することを確認してください。



### 【連続運転設定】

③さらに押し込む



### 【連続運転解除】







## 🔄 ビットの取付け・取りはずし

### ⚠️ 警告

コレットチャックの締付けは付属の23 mm スパナで作業してください。付属以外の工具を使用すると、締めすぎや締付け不足になり、けがの原因になります。

本製品は梱包時、軸径12 mm ビット用コレットチャックが本体に装着されています。使用するビットの軸径により、コレットチャックの付け替えを行ってください。軸径8 mm や6 mm のビットを使用する場合は、P.16「コレットチャックの付け替え」を参照してください。

### 取付け

1 コレットチャックをゆるめ、ビットを底が突き当たるまでさし込み、2 mm くらい戻します。

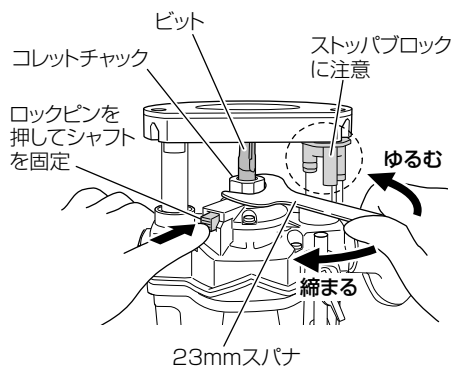
2 ビットが入った状態でロックピンを押してシャフトを固定し、付属の23 mm スパナでコレットチャックを固く締付けます。

注 コレットチャックを締付けた後に、ロックピンが元の位置まで戻ることを確認してください。

### 取りはずし

ロックピンを押しながら、コレットチャックを付属の23 mm スパナでゆるむ方向に回して、ビットを引き抜きます。

注 ビットの取付け・取りはずしの際は、ストロークを最大まで戻してください。ストップブロックとスパナがぶつかり、ストップブロックの破損や、けがの原因になります。



## 🔄 コレットチャックの付け替え

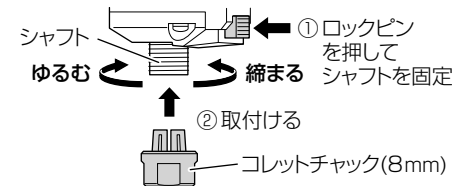
### 軸径8 mm のビットを使う場合

機体からコレットチャック(12 mm)をはずし、付属のコレットチャック(8 mm)を取付けてください。

注 •別売のコレットチャック(12.7 mm, 6.35 mm)の取付けも上記と同様に行ってください。

•コレットチャックをスパナで締付けるときは、ビットを入れた状態で行ってください。

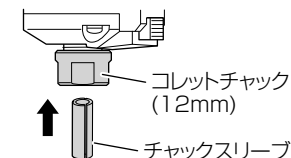
コレットチャックが変形することがあります。



### 軸径6 mm のビットを使う場合

コレットチャック(12 mm)を装着したまま、付属のチャックスリーブ(12 × 6 mm)をさし込みます。

注 別売のチャックスリーブ[12 × 9.53 mm]は、コレットチャック(12.7 mm)を取付け後、上記と同様にさし込んでください。



## 連続作業について

本機はモーターおよびモーターの駆動制御を行っている電子部品を保護するため、温度保護回路が搭載されています。

連続作業を行うと、機体の温度が上昇するため温度保護回路が作動し、自動停止する場合があります。(P.13「LED ライトの警告シグナルについて」参照)

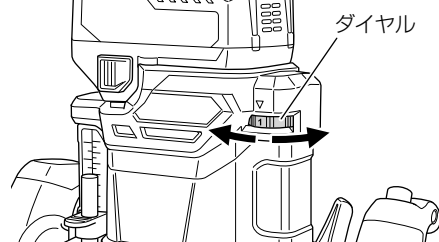
その際は機体を十分に冷ましてください。温度が下がれば再び使用することができます。

また、連続的に作業する際は、蓄電池の交換時に工具本体を 15 分程度休ませてから使用してください。蓄電池の交換後すぐに作業を続けるとモーター、スイッチなどの温度が高くなり、故障の原因になります

## 回転速度の調整

本機はブレードの回転速度を調整できる電子制御回路を内蔵しています。ダイヤルを調整し、加工材、作業条件に合った回転速度で使用してください。

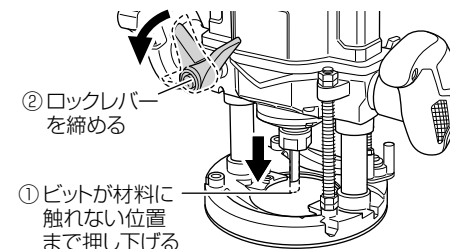
ダイヤルの目盛りは大きくなるほど速くなります。目盛りは、  
"1" が最低速 (11,000 min<sup>-1</sup>{回/分})  
"6" が最高速 (25,000 min<sup>-1</sup>{回/分})  
となります。



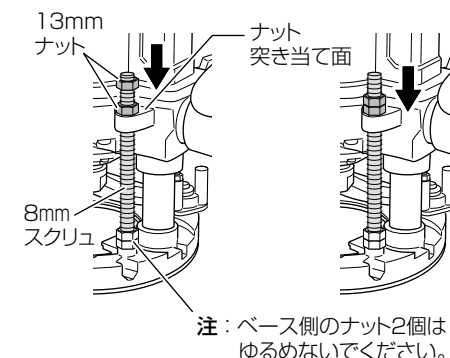
## ストローク上限の設定

8 mm スクリュに付いているナットの締付け位置を変えることによって、ストローク (上下移動) の上限を設定することができます。ビットの先端がベース面より必要以上に上がるときは、ナットの位置を下げ、機体の上限を下げれば、能率的な作業が行えます。

- 1 ビットが材料に触れない位置まで機体を押し下げ、ロックレバーを締めて固定します。



- 2 8 mm スクリュ上方に付いている 13 mm ナットの下側を、機体のナット突き当て面までお手持ちのスパナで移動させます。



- 3 下側のナットをスパナで固定した状態で、上側の 13 mm ナットを移動させ、先に移動したナットに密着するようにしっかり締めます。

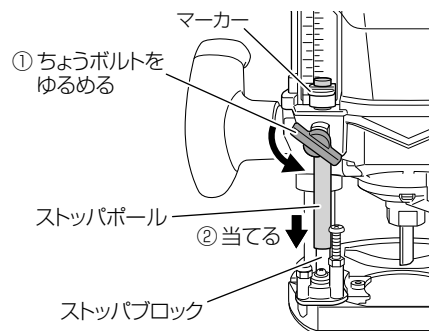
- 4 ロックレバーを解除します。

- 注**
- 設定後、機体を上限位置にして、ビットが材料に触らないことを確認してください。
  - ベース側に付いているナット2個は、8 mm スクリュをベースに固定するための物です。ゆるめないでください。また、時々点検してゆるんでいたら、締め直してください。

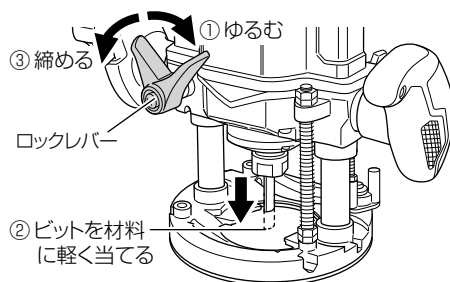
## 切込み深さの調整

### ●スケール(目盛り)を使う

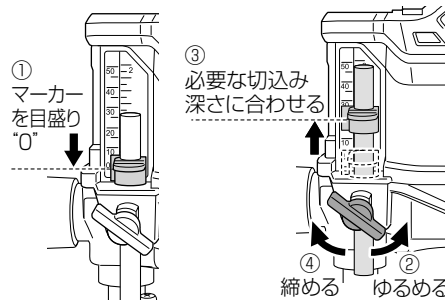
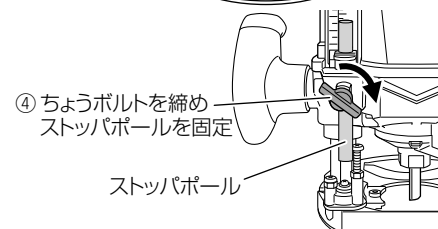
**1** ルータを平らな材料の表面に置きます。ちょうボルトをゆるめ、ストップポールをストップブロックに当てます。



**2** ロックレバーをゆるめる方向に倒し、ビットの先端が材料の表面に軽く当たるまで機体を押し下げます。この位置でロックレバーを締める方向に倒して機体を固定します。ちょうボルトを締め、ストップポールも固定します。



**3** マーカーを目盛りの"0"に合わせてたら、ちょうボルトをもう一度ゆるめます。ストップポールを持ち上げ、必要な切込み深さの数値にマーカーを合わせて、ちょうボルトを締めてこの位置でストップポール固定します。



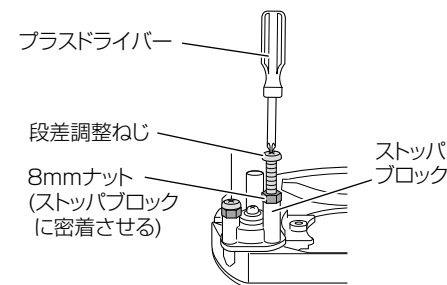
これで切込み深さの調整が完了しました。ロックレバーをゆるめて、ストップポールがストップブロックに当たるまで機体を押し下げると、所要の切込み深さが得られます。

### ●ストップブロックを使う

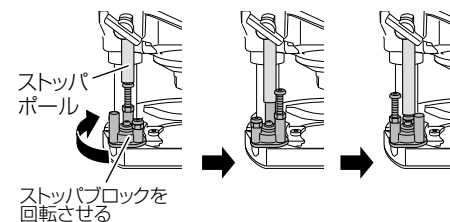
ストップブロックは、3種類の切込み深さを設定できます。深い切込みを数回に分けて切る場合、異なった高さを3種類あらかじめセットし、切断時に調整せずにスムーズに作業を進めることができます。

**注** スケールを使わないで切込み深さを調整するときは、ストップポールが邪魔にならないように、上方で固定してください。

**1** 最も深い切込み深さの調整は、最も低いブロックで行います。切込み深さの差が段差調整ねじの段差と等しくなるように、2つの段差調整ねじの高さをお手持ちのプラスドライバーで調整します。



**2** 調整後、段差調整ねじがゆるまないように8mmナットがストップブロックに密着するまで、お手持ちのレンチで締め付けてください。



**3** ストップブロックを回転させ、段差調整ねじの高い方から順にストップポールを当てて加工します。

段差調整ねじの高い方から順に加工

**注** 深い溝を加工する場合は、2~3回に分けて加工してください。また、1回の切込み深さは20mm以下にしてください。

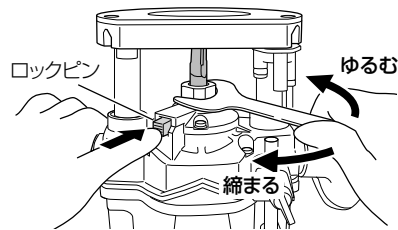
深い切込み作業は機体の操作が困難になったり、モーターに負荷をかけたり、故障の原因になります。

# 作業する

## 1 ビットの取付けを確認する



ビットの取付けを確認後、ロックピンが元の位置に戻っていることを確認してください。  
(P.15「ビットの取付け・取りはずし」参照)



## 注意

モーターが回転中は、ロックピンを押さないでください。また、ロックピンを押したままでスイッチを入れないでください。

## 3 スイッチおよびロックボタンの動きを確認する



スイッチ、ロックボタンが適切に作動することを確認してください。また、スイッチ、ロックボタンが元の位置に戻ることを確認してください。  
(P.12「スイッチについて」参照)

## 2 用途に合わせ機体を調整する



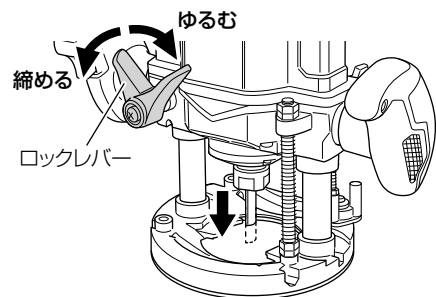
各種調整後、ロックレバーをゆるめて、機体がスムーズに動くことを確認してください。

また、1回の切込み深さは20mm以下にしてください。

(P.17「回転速度の調整」参照)

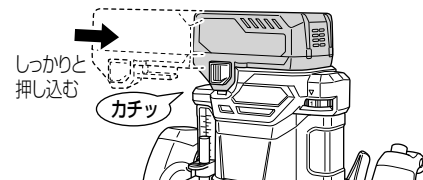
(P.18「ストローク上限の設定」参照)

(P.19「切込み深さの調整」参照)



## 4 蓄電池を取付ける

下図の向きで、「カチッ」と音がするまで、しっかりと押し込んでください。  
(P.12「蓄電池の取りはずし・取付け」参照)



## 5 ブレーキがかかることを確認する

本製品はスイッチを切ると同時に、ビットの回転にブレーキがかかる構造になっています。

使用前に、ブレーキがかかることを確認してください。

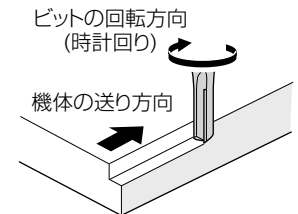
## 警告

①ロックピンや③スイッチ、ロックボタンが元に戻らない場合、⑤ブレーキが正常に作動しない場合は、直ちに使用を中止し、お買い求めの販売店に修理を依頼してください。

## 注意

材料の側面を加工するときは、機体の送り方向に向かって加工面がビットの左側に来るようにしてください。

右側に置くとビットの回転に逆らう配置となり、機体が負荷を感じしモーターが停止します。また負荷がかかりすぎると故障の原因になります。



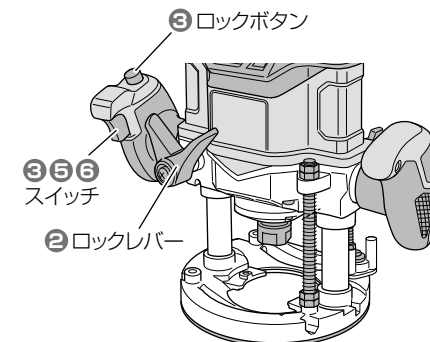
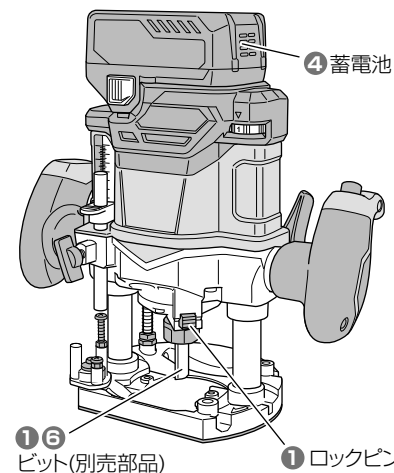
## 6 切削する

スイッチを入れるときは、ビットが材料からはなれていることを確認してください。

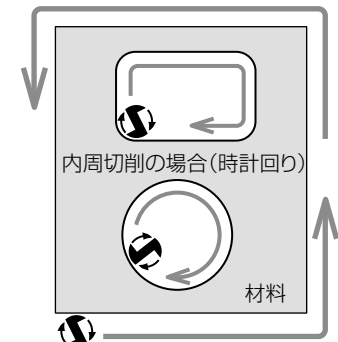
スイッチを入れて、ビットの回転が安定してから作業を開始します。

ビットは時計方向に回転します。

機体の送り方向は下図の方向に合わせて、使用してください。



外周切削の場合(反時計回り)

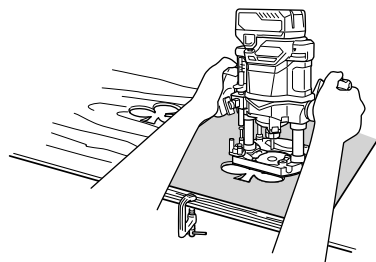


↺ ビット回転方向  
→ 機体送り方向

# 標準付属品の使い方

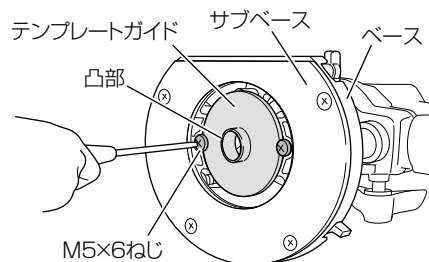
## ●テンプレートガイドの使い方

テンプレートとは型板、ならい型のことで、ベニヤや薄い板で作ります。テンプレートガイドは、テンプレートを用いて同じ形状の物をたくさん加工するときに使用します。



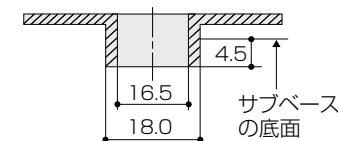
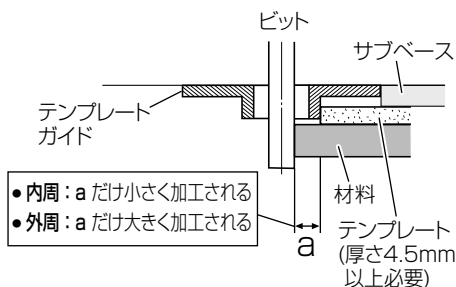
### 取付け

テンプレートガイドの凸部をベース底面側に出して、ベースにM5×6ねじ(2個)で取付けます。



### テンプレート作成の注意点

テンプレートの内周に沿った場合は、テンプレートガイドからビットの端までのすき間 "a" だけテンプレートより小さく仕上がります。反対に外周に沿った場合は、すき間 "a" だけ大きく仕上がります。このすき間を考慮して、テンプレートのサイズを計算してください。



[テンプレートガイド(M18)]

付属のテンプレートガイド(M18)はサブベースの底面から下に4.5mm出ます。テンプレートを作るときは、4.5mm以上の厚い板でテンプレートを作成してください。

## ●ストレートガイドの使い方

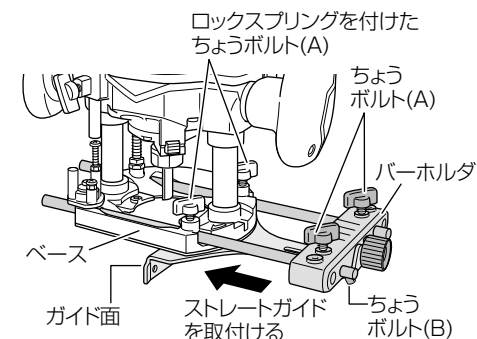
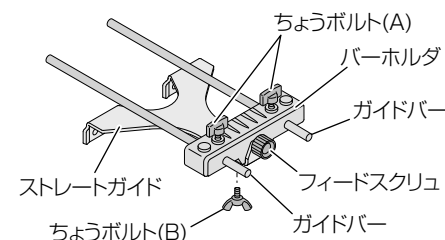
材料の端に沿って面取り、溝切り等の加工をする際に使用します。

**注** ストレートガイドは、機体の送り方向に対して右側に取付けてください。



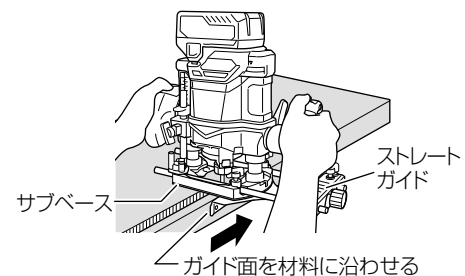
### 取付け

- 1 バーホルダの穴にガイドバーを入れ、バーホルダの上側から2本のちょうボルト(A)で軽く締付けます。
- 2 ガイドバーをベースの穴にさし込み、ベースの上のちょうボルト(A)2個でしっかりと締付けます。
- 3 フィードスクリューでビットからガイド面までの寸法を微調整し、バーホルダ上のちょうボルト(A)2個と、ちょうボルト(B)でしっかりとストレートガイドを固定します。



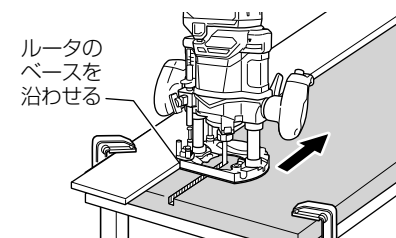
### 使い方

材料加工面にサブベース下面を密着させ、ストレートガイドのガイド面を材料に沿わせてご使用ください。



### 材料の端からはなれた箇所の加工

材料の端から遠い場所を加工したい場合は、ストレートガイドは使用できません。このときは必要な幅のある長い平行をもつ板材などをクランプで固定し、その側面にルータのベースを当てて切込みます。



# 保守・点検

## ⚠警告

点検・お手入れの際は、スイッチを切り、蓄電池を工具本体から取りはずしてください。

### ●ビットの点検

摩耗したビットをそのまま使用すると、モーターに無理がかかり作業の能率も落ちます。  
早めに新品と交換してください。

### ●機体の点検

各部品の取付けに、ガタつきやゆるみがないか定期的に点検してください。  
ゆるんだまま使用すると、けがなど事故の原因になります。  
異常がある場合は、お買い求めの販売店に相談してください。

### ●モーターの取扱いについて

モーター(内蔵)(P.8「各部の名称」参照)に、油や水が浸入しないよう十分に注意してください。

### ●端子部の点検

工具本体や蓄電池の端子部に切りくず、ほこりがたまっていないか点検してください。  
作業前、作業後のほかに作業中でも時々点検してください。

### ●清掃する

機体に付着した切りくずは、ハケなどで払うか、石けん水に浸した布をよく絞ってふき取ってください。  
ガソリン、シンナー、ベンジン、灯油類はプラスチックを溶かす作用があるので使用しないでください。

### ●機体や付属品の保管

下記のような場所は避け、温度が50℃未満で乾燥した安全な場所に保管してください。

- 注**
- お子様の手が届く場所、持ち出せる場所
  - 軒先など雨が掛かる場所、湿気のある場所
  - 温度が急変する場所、直射日光の当たる場所
  - 引火や爆発の恐れがある揮発性物質の置いてある場所

### ●リチウムイオン電池の輸送について

リチウムイオン電池を輸送する場合、次の点に注意してください。

## ⚠警告

輸送会社にリチウムイオン電池を含む荷物であること、および電力量を伝えて、輸送会社の指示に基づいた手続きを行ってください。

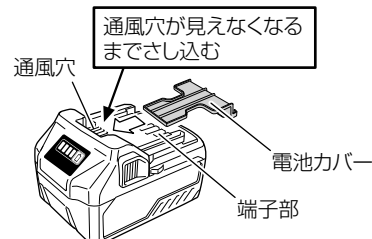
- 電力量が100Whを超えるリチウムイオン電池の場合は、輸送貨物の分類上、危険物扱いとなり、特別な申請等が必要になります。
- 海外へ輸送する場合、国際法令および輸送先国の規制に従う必要があります。



### ●リチウムイオン電池の保管について

## ⚠警告

- リチウムイオン電池の端子部に導電性のある異物が入り込むと、短絡(ショート)して発熱・発煙・発火する恐れがありますので、保管するときは、以下の内容を守ってください。
- 収納ケースに導電性のある切りくずや釘、針金や銅線などの線材を入れないでください。
  - 短絡(ショート)するのを防ぐため、蓄電池は工具本体にさし込むか、電池カバーを取付けて保管してください。



- 注** リチウムイオン電池を保管するときは、満充電にして保管してください。蓄電池の残量が少ない状態で長期間(3か月以上)保管すると蓄電池が劣化し、使用時間が著しく短くなる、または充電できなくなる恐れがあります。使用時間が著しく低下した蓄電池でも、充電と使用を2~5回繰り返すと使用時間が回復する場合があります。充電と使用を繰り返しても使用時間が極端に短い場合は、蓄電池の寿命が尽きたとお考えいただき、新しい蓄電池をお買い求めください。